

ちょっとうれしかった話^{はなし} —LINEに届いた知らせ—^{とどし}

中津川 和子^{なかつがわ かずこ}

(浜松日本語学院日本語教師養成講座^{はままつにほんごがくいんにほんごきょうしゅうせいこうざ})

先週の日曜日の夜、大学生の娘から突然LINEが入った。「浜市、女子駅伝優勝したよ!」「えー!すごい、やったね!」と、私は心の叫びをLINEで返した。浜市とは、浜松市立高等学校のことで、その陸上部の女子駅伝チームが全国をかけた静岡県大会で優勝したという知らせだったのだ。

娘は、同校陸上部の出身で、今の三年生は、ともに一年間汗を流した後輩たちである。浜市陸上部は、トラックやフィールド種目での全国出場は何回もあるが、駅伝で全国に出場するのは、男女通して初めてのことだ。

私は娘から、「今年はメンバーがそろっているから、全国狙ってるんだよ。」と聞いていた。秋も深まり、そろそろ駅伝の時期だなあと思っていたところに、飛び込んできたグッドニュース。私と浜市陸上部は間接的な関係だけれど、知らせを聞いた私の気持ちは高ぶり、その日から一人勝手に、気分の良いウキウキした日が続いた。

後輩たちは、12月26日、京都の都大路でタスキをつなぐ。私と娘は、早速全国大会へ応援に行くことを決めた。私の長男と娘は、陸上をやっていたので、かれこれ十数年陸上の大会が身近にあった。今は、娘も大学に進学し、

陸上は続けているものの、コロナの影響もあって、遠方からの声援のみにとど
めている。

久々の生観戦と娘との小旅行。私は、毎日テスト勉強やレポートに追われ
ながら、その日をひそかに心待ちにしている。

そして、どうかコロナが再び流行しませんようにと、祈る毎日である。

(603字)

(2022.6 たどくのひろば掲載)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この
作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典:「たどくのひろば」(<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use
this work, please indicate the source as in the example above.